

「綾里 津波のあいだ展」ギャラリートークにおいて講演を行いました（2020/1/11）

テーマ：綾里地区研究会、東日本大震災研究活動、出版記念イベント
場所：建築会館（東京都港区）

1月11日に東京都港区の建築会館において、「綾里 津波のあいだ展」が開催されました。本展は、岩手県大船渡市三陸町綾里地区研究会が東日本大震災以降、綾里地区にて行ってきた研究・活動の成果をまとめた書籍『津波のあいだ、生きられた村』（鹿島出版会、2019年）の出版を記念し開催され、これまでの研究・活動において作成・収集した図面や資料、模型、映像等が展示されました。また4日間の会期中に、日替わりでテーマごとに著者とゲストによるギャラリートークも行われました。

そのゲストスピーカーとして、当研究所の村尾修教授（地域・都市再生研究部門 国際防災戦略研究分野）が、「わが国における津波防災対策の歴史と沿岸地域の津波リスクの課題」に関する講演を行いました。講演後は、聴講者と津波避難に関する現状と課題について議論するなど、参加者の津波対策における関心の高さが伺えました。



書籍表紙



展示の様子



トークショーの様子



聴講者の様子